

# Visual Mining Studio バージョン 7.5 の変更点

2013 年 10 月 31 日

株式会社 NTT データ数理システム

## ※注意

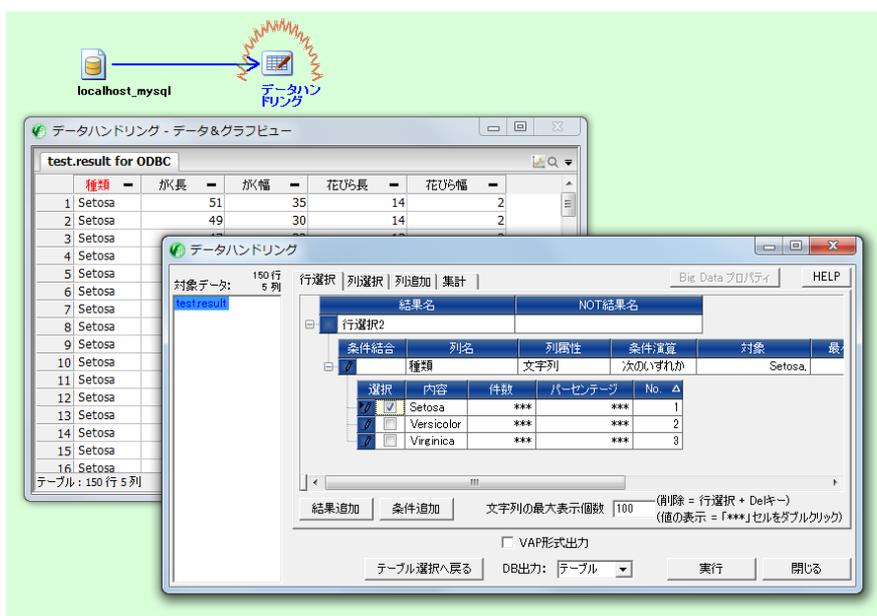
今回リリースされる Visual Mining Studio 7.5/Visual Analytics Platform 1.1.2 及びそれ以前のバージョンは Windows 8.1 をサポートしていません。Windows 8.1 では一部の機能が動作しないことが確認されています。申し訳ありませんが、Visual Mining Studio/ Visual Analytics Platform をご使用のマシンの OS の Windows 8.1 へのバージョンアップはお控えください。ご不便をおかけいたしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

Visual Mining Studio/ Visual Analytics Platform の Windows 8.1 への対応時期に関しましては別途ご連絡させていただきます。

## 主な変更点

### 1. データハンドリングのデータベース対応

データハンドリングアイコンでデータベース上のデータの操作を行うことが可能になりました。直感的な操作で、データをインポートすることなく高速に処理を行うことができます。





## 新機能一覧

### 追加されたスクリプト関数

CONST\_PI  
CONST\_INT\_MIN  
CONST\_INT\_MAX  
CONST\_REAL\_MIN  
CONST\_REAL\_MAX  
定数値を導入

### 改善された機能

オブジェクトブラウザ  
テキストファイル、Excel ファイルの保存に対応  
データハンドリング  
データベース対応、Big Data Module 対応  
データインポート  
エンコード変換の高速化、対応文字エンコードの拡張

### 改善されたスクリプト関数

sys\_proc、sys\_proc\_parallel  
スクリプトアイコンを呼び出す場合の処理を高速化  
chain\_table  
結合する 2 つのテーブルに同じ名前の列名がある場合にも実行できるように変更  
run\_script  
R を呼び出しの際に statconnDCOM を使用しないように変更  
実数値型の受け渡しの精度向上  
R の整数値型を整数として受け取る